

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活協同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	市内で診療所、こどもクリニック、歯科クリニック等の医療サービスや様々な介護保険事業を運営している法人が2010年4月に開設。地域交流スペース「わいが家」を併設し、地域住民との交流の場になっている。診療所、居宅介護支援事業所をはじめとした複数の同法人事業所が近隣にあり連携に努めている。ご利用者ひとりひとりの笑顔を引き出す事を目指し柔軟性ある個別ケアに取り組んでおり近年は近隣の保育所や小学校の子供たちと触れ合う機会も増えている。
事業所名	プラット新町	管理者	皆川 諭		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	2人	1人	1人	1人	4人	4人	0人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ●「出来る事」に着目した報告様式について職員間で検討し必要であれば作成していく。 ●リハビリ支援回数の増加依頼を継続し、増加が確定した段階で情報交換方法について検討していく。 ●定期的な情報共有の場の設定は難しい為、毎月の部署会議にて職員に配布される利用者情報を連携機関にも配布する。 ●柔軟な支援に必要な介護技術や経験を得る為に各種研修会に参加していく。また、事業所内でも短時間の勉強会を行っていく。 ●新規利用者受け入れ担当を2名程度に固定し、事前訪問や契約に可能な限り同行する。また、全職員の自己紹介シートを作成、利用者本人やご家族との初期からの関係作りにかかす。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一時期「利用者情報共有ノート」を作成したが効果的な活用には至らず。結果的に日々の記録が増えたのでノートの使用は中止した。 ●リハビリ支援については再度相談し、検討して頂いている。 ●利用者入れ替えが少なかった事もあり、利用者情報の配布を行わなかった。 ●新入職員の指導と人員の関係もあり、研修会への参加回数は限られていた。 ●新規受け入れ担当が1名異動し、事業所内の職員体制が保てない事から事前訪問や契約への同行はあまり出来なかった。全職員の自己紹介シートは年度初めに各ご家庭に配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> ●新規受け入れ担当にあまり固執しすぎなくても良いのではと感じる。行ける職員が同行する事で職員間に情報共有にも生きてくるのでは。 ●改善計画がたくさんあって大変だと感じる。具体的で分かりやすいが全て達成は難しいと思うので優先順位をつけていくと良い。 ●良く振り返りが出来ていると思う。細かく書いてあるので職員間のコミュニケーションに繋がっているのかなと感じる。 ●自己評価の部分が難しく、スタッフが評価しづらいように感じた。来年度に向けて伝え方を考えていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●リハビリ支援回数の増加依頼を継続し、増加が確定した段階で情報交換方法について検討していく。 ●柔軟な支援に必要な介護技術や経験を得る為に各種研修会に参加していく。また、事業所内でも短時間の勉強会を行っていく。 ●新規利用者受け入れ担当は固定せず、事前訪問や契約に可能な限り現場職員が同行する。 ●外部評価の流れについての学習会とは別に、「事業所自己評価」の内容について振り返り、学習する場を設ける。また、外部評価の進行状況を定期的に確認する機会を作る。(概ね2か月毎に部署会議内で行う)
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度作成した「施設紹介マニュアル」と「小規模多機能勉強会」で得た知識を活用して全職員が簡単な施設紹介が出来るよう勉強会を実施する。 ●わいが家にてプラット内に飾っている月毎に貼り返る壁面飾りを 	<ul style="list-style-type: none"> ●左記の勉強会は上半期では行っていない。 ●わいが家にて利用者手作りの壁面飾り半年分を貼りだした(6月末)。運営推進委員の目に触れる事は無かった。 ●玄関前の草花の量は昨年より増 	<ul style="list-style-type: none"> ●インターフォンを押すと出てくれる人がいつもニコニコしており入りやすいと感じる。 ●プラットから頂く書類や写真を見て雰囲気の良さが伝わる。 ●消防署が近くにあって大きい交差点もあるのでサイレンやトラ 	<ul style="list-style-type: none"> ●わいが家にて半年毎に行っている壁面飾りの貼り出しを継続し、毎月撮っている壁面飾りの写真をアルバム等にまとめ閲覧できるようにする。また、作品数の多い利用者については個人の作品展を実施していく。

	<p>半年に1回掲示する。また、作品数の多い利用者については個人の作品展を実施していく。</p> <p>●玄関前の環境整備の強化を行う(看板の設置、玄関前のプランター)</p>	<p>加し、野菜の収穫もあった。看板の設置は出来なかった。</p>	<p>ックの音を気にされる方もいる。子供の声も毎日聴こえてくるので好評な面もある。</p> <p>●車の音は生活音で日々聴いているもの。音は地域のひとつ、車の音はその地域の音と捉えても良いのではないか。</p>	<p>●引き続き玄関前の環境整備の強化を行う(看板の設置、玄関前のプランター等)</p>
C. 事業所と地域のかかわり	<p>●老健あらまちと合同で縁日行事を行い、ボランティアや地域の方にも声を掛け参加を促す。(8月)</p> <p>また、行事ポスターのコミセンへの掲示や回覧板に回して頂く事で地域の方にも行事のPRに協力をしていただく。</p> <p>●保育園と合同で行事や催し等を行う。</p> <p>●昨年度と同様に教育施設との交流を活発に行う。最寄りの中学校との交流の機会を作っていく。</p> <p>●定期的にプラット新町の「活動報告」を回覧板に回し、その中に介護相談の窓口である事も載せる。同時にコミセンへの掲示依頼をする。</p> <p>●訪問時等に本人、ご家族に対し地域で困っている方等の情報を確認し、必要時は包括支援センターとの連携を図る。</p>	<p>●老健あらまちと合同で夏祭りを開催し、当日は30名以上の地域の方が参加。ポスターのコミセンへの掲示は意図的に行わず、回覧板の活用はしなかった。ボランティア依頼は小学校・中学校にしたが夏休み中の事もあり協力は無かった。</p> <p>●保育園とは七夕祭りを合同で行い、今年度も近隣の小学校や中学校への授業協力・交流を行った。(1中学校、3小学校)</p> <p>●回覧板にて活動報告・相談窓口としての周知は出来なかった。コミセンへの掲示も行えていない。</p> <p>●ケアマネジャーが毎月の訪問時に本人、ご家族と情報共有を行っている。それ以外の職員は送迎時等で会話をしているが情報収集としては不十分。包括支援センターとの連携の機会も少ない。</p>	<p>●送迎時の挨拶は出来ているし、その日の様子についても概ね伝えてくれている。</p> <p>●ケアマネの仕事をしているが5,6年前よりもプラットを知っている人が増えてきている印象。更に知ってもらえるように働きかけたい。</p> <p>●組合員さんの新町支部役員さんが生協の文書を回すことに抵抗がない町に文書を回してくれるとのお話があった。来年度は回覧板の活用がしやすいかもしれない。</p> <p>●地域からの実際の相談状況は、わいが家から入り「泊めてもらう事は可能か？」の相談や家庭で不要になったオムツ等を届けてくださる事もあった。地域の行事については中学校の花壇整備、保育園の行事、新町小の運動会。コミセンの行事案内も頂いている。</p>	<p>●老健あらまちとの合同行事の実施を企画していく。</p> <p>●こども園と合同で行事や催し等を企画し、実施する。</p> <p>●昨年度と同様に近隣の教育施設との交流を活発に行い、最寄りの中学校との交流の機会を作っていく。</p> <p>●定期的にプラット新町の「活動報告」を回覧板に回し、介護相談の窓口の機能もある事を載せる。同時にコミセンへの掲示依頼をする。</p> <p>●コミセンで行われる行事や活動に職員が参加していき、地域住民の困りごとを吸い上げていく。</p>
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	<p>●「興味・関心チェックシート」を全利用者に順に行い、会話の中で以前の暮らし方を10個以上拾い上げ、表にまとめ職員間で共有する。</p> <p>●民児協定例会議に引き続き参加し民生委員との協力関係を築いていく。利用者だけでなく地域の心配な方の情報交換も必要時していく。</p>	<p>●興味・関心チェックシートを4月～6月にかけて全利用者を実施し以前の暮らし方を10個以上挙げる取り組みを行い、職員間で共有したが、利用者の外出等には活かせなかった。</p> <p>●民児協定例会議には何度か出席し情報交換を行った。民生委員からの直接相談等は無かった。</p>	<p>●民児協定例会議では民生委員さんとの情報交換を行い、最近では防災についての取り組みが地域の中で出来たらと話が出ていた。</p> <p>●美沢の会議の時にプラット新町は家族を地域の一員と考えていると言われていたが、前回の改善計画の中では見えなかった。</p> <p>→地域の方にとどこまで関われるかという問題もあり、まずは地域住民の一員である家族から支えていく、気にかけていく事から始めている。</p>	<p>●「興味・関心チェックシート」から得た情報を元の実現可能かつ優先すべきものを抽出し、1つ以上の項目を実現する。</p> <p>●民児協定例会議への参加を継続し民生委員との協力関係を築いていき、地域の心配な方の情報交換もしていく。</p> <p>●家族向けの介護相談会・懇親会を開き、ご近所や知り合いの方の参加も呼び掛けていく。情報交換の中で必要があれば地域包括支援センターとの連携を図る。</p>

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進委員に地域の実情に詳しい方に入って頂き会議内で地域における課題等について情報交換をする。(居宅介支援事業所ケアマネージャー、近隣町内の町内会長様等) ●プラット新町運営推進会議に役職者以外の職員も参加していき、現場での困りごと、地域の方や他法人の方に聞いてみたい事を聞ける機会を確保する。 ●他法人の運営推進会議に管理者以外の役職者も参加していき、新たな知識・経験を得る。得たものを自施設の運営や外部評価に活かしていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●地域の居宅ケアマネの参加は得られたが、町内関係者の参加協力は得られなかった。 ●プラット新町運営推進会議への役職者以外の参加は何度か出来たが、事業所からの報告に時間を要し、地域の方や他法人の方と話す時間が作れなかった。 ●他法人運営推進会議には職員体制もあり、副主任との2名での参加は1度しか出来ず。管理者が参加出来ない場合に代理として副主任の参加も1度あった。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進会議での地域の心配な方や地域での取り組みについての検討は行われていない。毎回テーマを決めて投げかける等出来れば良い。 ●お互いの行事に声を掛け合ったりして行き来はしている。 ●会議に3回出席させて頂いているが昨年からの改善した点が見えない。 →目に見えて変化があったかと言われると難しい。職員のスピーチロクに関しては学習会の効果がありかなり減っていると感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●運営推進委員に地域の実情に詳しい方に入って頂き会議内で地域の課題等について情報交換をする。(近隣町内の町内会長様等) ●プラット新町運営推進会議に役職者以外の職員も参加していき、現場での困りごと、地域の方や他法人の方に聞いてみたい事を聞ける機会を確保する。 ●事業所からの報告内容を簡素化し、地域の課題について検討する時間を設ける。 ●地域包括支援センターと連携し、様々な制度や虐待について直接または間接的に知る機会を設ける。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●わいが家で行っている総合事業参加者と合同で防災訓練を行う。(最低年1回) ●防災訓練を行う際は事前に町内会長の元に案内文書を持参し近隣地域に回覧していただく。 ●防災についての事業所内勉強会を実施する。(防災計画の再周知・徹底を目的としたもの) ●民生委員や近隣の教育施設に対し、災害時には障害を持つ方へのサポートや一時的な受け入れが可能という旨の文書を出し、災害時の役割を知って頂く。 	<ul style="list-style-type: none"> ●3月にわいが家で活動している総合事業参加者と合同で水害想定での防災訓練を行った。今年度末も行う予定としている。 ●近隣町内代表者の運営推進会議への参加がなく、防災訓練の案内文書の回覧依頼も出来なかった。 ●防災計画については10月の水害を受けて見直し中。見直しが完了次第実施予定。 ●民生委員及び近隣の教育施設に対し左記の文書は出せていない為、災害時の役割についても周知出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所勉強会で非常災害時について検討する機会を作ろうと考えている。 ●事業所内マニュアルがあって、地域の方の受け入れをしているので、市にも報告し福祉避難所としてみなしの認定等を受ける必要性もあるかと思う。 ●プラット新町も平屋なので水害には弱いのかなとも思う。 ●立地として小学校や中学校が近い為、あえてプラットを避難所として使うということは少ないかもしれないが必要があれば地域に対して協力をしていくべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ●防災についての事業所内で検討する機会を設定する。(防災計画の再周知・徹底、非常食や必要物品の再確認を目的としたもの) ●防災訓練を行う際は事前に町内会長の元に案内文書を持参し近隣地域に回覧していただく。 ●民生委員や近隣の教育施設に対し、災害時には障害を持つ方へのサポートや一時的な受け入れが可能という旨の文書を出し、災害時の役割を知って頂く。また、改善計画「C」の活動報告等の回覧文書に災害時の役割についても記載する。